

諸家系譜

位

小笠原

庫文官政太		和書門	
二二五	三三六四九	函	號類

庫文閣内		和書	
二二五	三三六四九	函	號類

内閣文庫	
番號	和 32649
冊數	225 (77)
函號	156 23

共二百廿之內

共八十五



と
源

系信

未
王
月
廿
三
日

信
源
氏
之
子
也
源
氏
之
子
也

中
興
妙
法
僧
少
監
丹
後
守

清和源氏

小倉原

東之坊

三階書

塔之坊

五之相

養之坊

三階書

秋之坊 後醍醐天皇之御時

後醍醐天皇之御時 皇太子之御時

殿殿之條 殿殿之條 可為口下或出之

定式者 沖年引下駕又五之字

家之條 可為口下或出之

勅許通定... 之字... 新... 用...
 以... 後... 俾... 多... 此... 運... 行... 錄... 為... 我...
 朝... 皇... 宗... 傳... 東... 法... 以... 相... 時... 著... 之... 終... 不...
 右... 皇... 之... 字... 子... 包... 藏... 相... 傳... 著... 之... 下... 也...
 之... 稱... 中... 亦... 用... 尚... 時... 追... 也... 用... 此... 之... 階... 著... 也...
 中... 以... 別... 是... 之... 也... 然... 也...

一
 皆... 乃... 七... 相... 終... 不... 也... 古... 朱... 清... 和... 原... 氏... 一... 族...
 多... 亦... 用... 此... 也... 之... 也... 初... 亦... 賀... 義... 次... 亦... 信... 德... 子...
 是... 光... 以... 朱... 古... 用... 東... 以... 本... 家... 著... 之... 也... 忠...
 知... 今... 已... 代... 月... 信... 德... 子... 長... 亮... 代... 也... 云... 之... 相...
 相... 政... 中... 也...

加... 實... 氏... 信... 德... 子... 忠... 亮... 傳... 子... 忠... 亮... 傳... 子...
 小... 室... 東... 在... 第... 五... 代... 長... 清... 十... 八... 代...
 其... 部... 大... 輔... 秀... 政... 之... 也...

忠知

母 國... 傳... 子... 信... 德... 子... 忠... 亮... 傳... 子... 忠... 亮... 傳... 子...

字 多... 實... 豐... 信... 子... 信... 德... 子... 忠... 亮... 傳... 子...

家... 長... 清... 光... 宗... 女...

慶... 安... 乙... 亥... 年... 也... 也... 也... 也...

知... 亮... 相... 實... 名... 貞... 政... 九... 家... 之... 也... 也...

名... 德... 之... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...

所... 藏... 之... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也... 也...
 日... 九... 甲... 寅... 年... 十... 月... 初... 信... 德... 子... 忠... 亮... 傳... 子...

川中為要十夜果 津 不字洋原仕奉政
与志知と改

元和九年庚午七月 津之修一信并
寛永永元元年一信書院与改

口之為 高年六月再 津之修一信并
口三月 津之修一信并切又皇宗

大献云

津島上三信津島守 津島守前内信并
比附信了与志系馬と 津島守前内信并
然と為馬仕信并信了与志系馬と

口之為 高年六月再 津之修一信并
口三月 津之修一信并切又皇宗

口之為 高年六月再 津之修一信并
口三月 津之修一信并切又皇宗

口之為 高年六月再 津之修一信并
口三月 津之修一信并切又皇宗

口之為 高年六月再 津之修一信并
口三月 津之修一信并切又皇宗

口之為 高年六月再 津之修一信并
口三月 津之修一信并切又皇宗

少時... 十月在... 後炮... 洋行... 作...

日... 春... 官... 竹中... 台... 乃...

大越公 津之唐信守

日... 北... 蜂... 乃... 正...

大越公

上... 津... 上...

口年申報之...

上皇幸對自今之...

右二通不長...

口口口口口口...

女通院文...

慶安二己丑年...

初五日光...

大誠公...

口口口口...

以九月...

今年...

山形...

東照宮...

忠和...

洋...

口口...

早身就家府但系身一死日光
沙谷代古勅以
日七月三日氣大切之節嫡子山城守以爲
日沙谷一 沖那有之内應之雲
花洋代
日七月三日 卒二十六日葬三河吉田
万幸山條海守
号天真院二年定水

忠公二男
長定

從五位下 竹能後子
母灰女
妻庭田中将三純朝后女

寛永十七庚辰年 坐遣後
兼延之甲午年九月初 初白
出有公 沖那之沙谷五勅上

明曆元己未年中奥内水北山初米
乃乃依之下
万治元甲戌年十二月詔大吏
任丹後守

寛文三癸卯年
大猷之十四 沙谷守口光 沖成之
信守
日八月廿四日 順中親亡父志急遺體德代

三州在田下紙
四ノ月及志和氣毛通長定三ノ石
分地是也少少切牙尾上中
以六ノ年於中於二ノ月初改作住
日九ノ年七月七文志七四志ノ内
其氣之州古書少少紙以時
之御成少氣日丹兩宮上事
是宮之乙卯年九月廿一
三四志ノ内神燒香ノ使日
天和二ノ年安宅出
作手湯乃常力正奉為人
白求初之

付時ノ神儀而今少
口三月廿八日
口之發亥年一
洲代地
貞享四年
元禄九年
口之乙卯年
口之壬午年
之也ノ入湯

口七月痛不食内夜...
 宣永之西成...
 宣保元...
 口二月...
 口二月...
 口二月...

長郡 五針

母 庭田中...
 妻 弟...
 宣文七...
 宣省...
 宣永...
 宣...
 宣...

但子子他子記如父志系外記長秋古交
長秋古交

女子 尚井内膳政明壽

母 口口

長昌 任織

母 口口

尼介古古生死

長堅 小三原多吉

母 口口

細川越中守紹利家系長

長剛 初長壽 官四
母 古古古古古古

長名臨政

日十四年巳年三月四日初五

常憲王 冲月足秋經子代

富永五日子年二月父死 祖父後子

才新嫡孫兼祖子成

享保元而甲年十二月廿九日

口月十一日 决督中祀秋經子代

口二月百年年二月廿九日 夜新燒

口五月庚子年三月廿八日 山下内古

口十月辰辰長尾新燒

口月十日山下内古 口口

日七廿亥年六月寅名長剛
 日十二午年五月十一日
 他多致以三月十八日
 日十九甲寅年三月十八日
 丙午

延享十二年五月廿九日

同壬午二月十二日

三浦新福被服了代

寅延之庚午年五月廿九日

日寺

号新相院天溪道湖

女子

嘉良寺
左門元知

母 以

男子

又三命
早世

母 以

女子

早世

母 以

女子

大入深修
淡井内膳氏係妻

母 以

男子

早世

母 以

長賢

母 茂女

年八

享保八癸卯年十月廿五日生武列

幼名研吉

口十九甲寅年十一月十二日申來寺改當

長照美子也此名也年宮内御女也

子 茂女

元文元辰年十二月病氣身父方卜

引 茂女

延享二乙丑年一越所乃物死於起長賢

病氣令使 年九月廿九日死於延福

子 茂女

口江下外年十月廿五日生 茂女 幼名美子

石見乃乃也三男右膳成智年八月死

口月廿九日死於延

定是延元辰年十一月廿三日

明和六乙丑年七月八日死於十八日葬口也

号正服院一透祥每

女 子

早世 茂女

初定

茂女

享保九年己酉年二月十七日生
足布衣之子也
延享二年六月十九日死十七日葬
号雪羽院獨坐堂

男子

九十一

母 衣女

女子

母 衣女

長賢 衣女

長儀

親子

衣女

衣女

衣父

少室宗光

紅川衣女

衣女

衣女

衣女

衣女

享保九年甲辰年三月廿二日生

年

寛延元年辰年四月二日

日正月廿八日

寛延二年甲午十二月十三日

日三月廿九日

日五月十八日

日五月廿年四月廿三日

日七月廿年

口八月廿九日死之午四時葬口
号園院院中奉淨瓶

延書位下 丹後守

長育

母 長賢女

書作逆和泉守村賢之妹

寛延之元年三月十日生口

彦名各書之

口丁七丁馬年十一月十二日

口一月廿二日家督口祀以傳口口口口口

大納言儀口 秋原口

明和五年四月廿九日

清明公口口口口口

口十一月廿七日

口二月廿七日

口八月廿七日

口八月廿七日

口八月廿七日

天明元年五月廿七日

口八月廿七日

口八月廿七日

口八月廿七日

清本沙路信信 仰承

口月廿八日册後子と改名

寛政12年二月廿九日申家依後子女

若良女仕仕後依後子

口十戌午年十月月之依後子之田角之進

若良子仕後子

口壬子月廿七日 仰承

長席 改度保初の次席 立席有る

母りり

明和庚寅年九月廿九日新田島本長渡子
能忠長原長年九月廿九日廣若長子

男子 若良 早世

母 河邊和泉子村賢妹

若良女 早世

實 小島系依後子

母 長亮 女

若良子 角之進

實 小島系依後子 長亮三男

母 長亮 女

右之通 河邊和泉子

高二千石之河邊 和國早世 佐分利地例集記
生回初年

寛政十一年十二月

出雲丹後
凡

未至月物
仙居海之物

仙居海之物
出雲丹後

系譜

在源

出雲丹後
仙居海之物
出雲海之物

清和源氏

中心系

新羅三帝義光六代清和源氏
二男五弟美長居始子延揚
桐名系山

三階美

三階美

三階美

三階美

清和源氏
長廣備男

長廣備男

志知

長廣備男

長形

山内子

長定

後子

高田中島龍山三子長定後記

長秋

外記

母長女

書 横山日記初巻

寛永二十二年九月廿二日 生世後行記

寛文三年十月廿九日 参智之節見下 山内石分知

月廿二日 入河津屋内 房長後子

延享二年五月廿三日 入河津屋内 房長後子

元禄二年二月廿七日 河津屋内 房長後子

寛永三年十二月十七日 河津屋内 房長後子

幕政之天保山内房長後子

長之

始修外記 又三子 忠孝外記

長母 横山印女

長父 小室宗能後子 長定二男

長母 庭田中於雅 池田長女

長書

寛文八年二月廿二日生記

元禄三年二月廿二日生記

元禄三年二月廿二日生記

元禄三年二月廿二日生記

元禄三年二月廿二日生記

元禄三年二月廿二日生記

元禄三年二月廿二日生記

長

始孫六 陸及 三 昭 忠 宗 十 院

長母 無一

實父 細川家女 正利昌口男

實母 家女

元隆十七甲午 生 無一

嘉保元年 二月 子 長 孫 子 孫

享保十八甲午 七月 子 孫 孫 入 承 之 幼 子 記 十 月

十一日 也 礼

享保十九甲午 正月 乃 入 内 中 位 但 其 承 孫 孫 孫 孫

西今二甲午 二月 初 乃 孫 入 三 孫 孫 孫 孫 孫

西今四甲午 四月 乃 孫 孫 孫

天明元五年 四月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

女 六月 乃 久 松 孫 孫 孫 孫 孫

正 銘

十二 三 五 九 院

西今十甲午 五月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

母 家 女

正 宗 院 法 山 石 孫 孫

長 慶

始 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫

母 家 女

嘉 保 元 年 十 月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今四甲午 正月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今五甲午 二月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今六甲午 三月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今七甲午 四月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今八甲午 五月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今九甲午 六月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

西今十甲午 七月 乃 孫 孫 孫 孫 孫

女 桂村年左の妻少於書

母良女

女 向井時定政の妻

母良女

女 中宮実朝の妻

長

知 相 助 友 也 子 信

母良女

妻 吉野 子 信 友 妹 子 信

妻 吉野 子 信 中川右兵衛忠英女

室 十三年三月二十日 信友 子 信 友 妹 子 信 友 妹 子 信

二月七日 信友

安永二年 二月十九日 入西丸内中世世和年内通河

安永四年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明元年 五月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明二年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明三年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明四年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明五年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明六年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明七年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明八年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明九年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

天明十年 二月二十日 入西丸内中世世和年内通河

女
母家世

娘中納戸竹中丸兵衛正延上嫁
亦西丸中納戸直素山正上物一新上嫁

慶的
中三子孫三弟

女
後進上之弟上直素

母家世

長榮
海之物

長母少川氏女

實父行洞石見了 貞方十男

實母家世

妻打手初永了 榮之妹

天明二年十二月之生年白

更政元年五月廿九日 父三膳禮儀之命死於八月
廿九日又私意命去子親訂式身死於九月廿九日
其有定式一忌時法以極之儀也
口年十月十日法月廿九日入初年任後了子也記
三月十八日也

右ノ通法外公ノ以上

高印子石 三子也 印吉甲斐 印神 權前川
幅之部 自 生吉國新 印神 權前川

寛政十二年三月 忠五系海之物



未三月廿八日

先祖書

を
源

清和源氏
二百四十四。堀田是光子

五代家名

小笠原長房

後冷泉院中丁酉年
賜松皮之紙於新羅三帝親光
義光自親光相傳至相傳長傳
以此紙為古書之紙

信和原姓 小室系

家紙 松皮

但書付之證書 古書

松皮 五七桐

松皮 松皮

松皮 松皮

今五十二代信和原姓三子之長子自他親之嫡
孫春之始也信和原姓嫡子由信和原姓之嫡
孫信和原姓之嫡子由信和原姓之嫡子由信和原姓之嫡子

海防神功長傳
長傳十七代
長傳十七代
長傳十七代

元祖 生國信長

忠臣 伊豆守長臣
幼名 孫六 長長長臣

母 海防神功長傳

天正二年 甲午 信州 松尾 磯切 長傳

天正十年 甲寅 三月 信州 松尾 磯切 長傳 同日
於駿河 改 爲 長長長臣 奉 齋

神皇

口年九月

神皇信長 命 長長長臣 松尾 磯切 長傳 長傳

磯切 長長長臣 長長長臣

如 長長長臣 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

神皇 不奉 命 長長長臣 長長長臣 長長長臣

似他信別... 山... 長

但右國... 長

長巨... 長

長巨... 長

慶長... 長

長... 長

長巨... 長

長巨... 長

二代月... 長

母... 長

竹園所因在源氏
 元和元年八月所深... 父子... 國本
 為國... 在源氏
 沙... 國本
 台... 國本
 仕... 國本

正德元年... 到朱... 恩...
 於大久保... 御...
 九月... 御...
 抄... 御...
 於大久保... 御...
 二月... 御...
 抄... 御...

右所... 御...
 父長巨... 御...
 定永... 御...
 四年... 御...
 之節... 御...
 定... 御...
 長素... 御...
 長素... 御...
 長素... 御...
 三行目
 母... 御...
 明... 御...
 延... 御...
 延... 御...

親父が老了了... 延喜四年七月廿七日
長素依... 延喜四年七月廿七日
長素依... 延喜四年七月廿七日

元治二年七月廿七日
延喜四年七月廿七日

長朝妻

長朝女

長朝女

長朝女

四女目

長貞

母 小室長三女

延喜七年四月廿七日

天和二年四月廿七日

元治二年七月廿七日

長貞

長貞妻

長貞女

五女目

長暉

母 子村氏女

延喜四年七月廿七日
元治二年七月廿七日

葬りて其志定也

長暉妻

不問

水野氏人云其女

長暉子

澤木氏

長暉女

内書深者
幸和後夜夜

依之同成幼信之妻

長暉女

尾明子之

山村氏子成由妻

長暉女

臣

本下法以多其妻其女

長暉女

臣

本下法以多其妻其女

六月

母水野氏人云其女

小室氏 兵庫 長春

元之三年正月朔初行月之

元之四年十月廿七日其妻之

元之五年十一月廿七日其妻之

元之六年十一月廿七日其妻之

安永四年七月廿二日死其女

葬同日号一宅院

長孝妻

竹内

大和守親藏女

長孝孀

澤木氏

長孝二男

澤木氏

長孝二男

元光寺修系助為妻 十

但長孝子其女為如父為妻

長孝女

澤木氏

打平寺子其信言妻

長孝六男

中室氏 十信長之

但長孝妻信一其子也其子也其子也其子也

但長孝子其妻死後其子也其子也

七代

生信德

中室氏 親負 長德

母水野氏女

丁卯年二月朔日始行月之

廿五日庚午十月九日庚午十月九日

王明官居平一乘明() 信度上御也百能也百姓

去歸御魂跡仕() 如延延同序念之旗() 幼也()

御() 元亮() 守() 右() 之() 一() 日() 之() 守() 弟() 居() 住() 人()

之() 在() 洲() 相() 守() 亦() 在() 公() 守() 没() 在() 朱() 三() 五() 洲() 相() 守()

以() 守() 以() 以() 改() 生() 亦() 一() 在() 所() 一() 同() 守() 亦() 在() 公() 守()

仕() 守() 亦() 在() 公() 守() 亦() 在() 公() 守()

正卯年八月十日没在

長惣書

長惣書 信度上御也

律神元初() 丁卯年十月十日

八代目生信度

出() 守() 亦() 在() 公() 守() 没() 在() 朱() 三() 五() 洲() 相() 守()

母 瑞大和守親御女

天明七年八月十七日没 九月朔日也此林也守長

定政七年十二月十日 和年没 守長親御使女

或() 之() 由() 乃() 多() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

從() 之() 親() 御() 使() 女() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

仰() 之() 親() 御() 使() 女() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

長著書

守() 長() 親() 御() 使() 女() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

長著書

守() 長() 親() 御() 使() 女() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

守() 長() 親() 御() 使() 女() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

右() 邊() 出() 守() 長()

守() 長() 親() 御() 使() 女()

寛政十一己未年十月

小() 守() 長() 親() 御() 使() 女()

守() 長() 親() 御() 使() 女()

庚子三月朔
伊田山御書

系源

辛二
源
伊田山御書

信和源氏
九孫書
伊田山御書

西在御世但
伊田山御書
伊田山御書

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

源姓

小笠原

先祖ノ源ノ切衣ヲ常陸國守小笠原五右衛門左衛門
常山

善之次 相行

源之次 日

源之次 出七相

小笠原五右衛門信之丞

身利

母夜女

妻

慶長十二年 生部川見部郡 本之儀
定永云辰年八月十日 初三所自見仁

元禄三年二月廿七日死七十
葬日吉馬木光院一福徳心
忠晴 之方 吾妻政政湯井
高附十三系以之配

母次女
慶安四年
神田所及之住也

通信 元吉 了方氏

母次女
寛文二年十二月廿日書信高志山所及之方
友平通信為御書也

女 山中住
母次女 所及之方一信書

亮信 九下 了方氏

母 元吉 田島住
書 所及之方 了方氏 御書也

寛文八年生也
天和三年九月廿日 了方氏 御書也

元禄四年八月廿日 了方氏 御書也
元禄九年八月廿日 了方氏 御書也

母 了方氏 御書也
忠推 了方氏 御書也

母 了方氏 御書也
奉月日 了方氏 御書也

信 了方氏 御書也

享和元年九月十日... 信親

女 相年... 直治妻

母音

信親

始... 終... 云々

母音自氏

是妻 内例... 信親

妻 西名... 田...

元禄五年... 入...

享和二年... 入...

享和七年... 在...

享和十年... 在...

元禄元年... 二月十八日死

信女 氏 於...

母音田氏

妻 西名...

享和八年... 入...

享和四年... 入...

享和二年... 入...

享和元年... 入...

享和元年... 入...

享和元年... 入...

安永二年八月七日
養口子号不字院徳山乃兵
正芳 持の御書部之

母音
正芳之弟平九月之内書院乃御書部之他院
左院云乃乃云々
信勇 取取し物概云々

母音女
正芳之弟平六月之内書院乃御書部之他院
云々乃云々乃云々
為道 云々の御書部之

母音女
由平九年三月之内書院乃御書部之他院
云々乃云々乃云々

信満 持の御書部之

母音女

正芳之弟平六月之内書院乃御書部之他院

女云々の御書部之 正芳之弟平六月之内書院乃御書部之他院

母音女

信将 持の御書部之

去母 正芳之弟

正文 正芳之弟平六月之内書院乃御書部之他院

正母 正芳

正妻 正芳之弟平六月之内書院乃御書部之他院

正妻 正芳之弟平六月之内書院乃御書部之他院

在原

三月廿九日

法和原氏
二百八十番。物部三子

法和原
忠三郎 治之助

[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]



Handwritten text in a rectangular box, possibly a title or a specific entry.

海姓

小笠原

先祖の御名中家帝徳の御序
小笠原之用大分公書の中に

幕の級 九の相違書

表の級 日

巻の級 五七の相

小笠原三郎左衛門 貞利一男

始九千部 三在史

海姓各友夕

○志晴

廿年 竹苗字改海井

母 永女

壽 公

寛永永志ノ廿年一月廿八日生
慶安四年一月廿八日

常憲公

神田 遠藤 公 遠藤 公 前法回下

行書院書曰 臣 遠藤 公 承 之 言 不 忘
其 後 所 授 以 命 之 後 亦 承 之 言 不 忘
以 命 之 時 亦 承 之 言 不 忘 承 之 言 不 忘
上 野 公 邑 臣 那 山 田 那 之 臣 亦 承 之 言 不 忘
之 後

淨徒公

西尾 公 山 後 徒 之 命 亦 承 之 言 不 忘

遊 之 後 亦 承 之 言 不 忘 承 之 言 不 忘
其 後 亦 承 之 言 不 忘 承 之 言 不 忘
入 之 命 亦 承 之 言 不 忘

慶 安 四 年 一 月 廿 八 日 以 後 之 年 月 日
不 忘

自 慶 安 四 年 一 月 廿 八 日 以 後

鶴 張 君 承 之 言 不 忘 承 之 言 不 忘

於 命 之 時 亦 承 之 言 不 忘

年 月 日 亦 承 之 言 不 忘 承 之 言 不 忘

那 之 臣 亦 承 之 言 不 忘

同 也 亦 承 之 言 不 忘 承 之 言 不 忘

下書

因之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之... 庚午年七月... 文之...

信証

三石寺

長母

實父

實母

通亮女

正勝次男

實母

實母

妻

西丸山書院為其母氏也
直田内親助信氏女

正徳二壬辰年八月日不知江戸生

有種虎様沙代其父忠乃乃中書院番和年内通

其母一節用子之官其父有德名其母也

海軍少将之佐及後其母也

寛保九甲辰年四月日不知其母也

元文五庚申年十月廿四日其父忠乃乃

病歿仕人

同年十二月廿三日其父海式和年頃也

其母一節用子之官其父有德名其母也

後

年月日不知其父忠乃乃中書院番和年内通

中云

寛保元年丙午十月廿四日其父忠乃乃

其母一節用子之官其父有德名其母也

其母也

寛延四年庚申八月四日其父忠乃乃

法名元切院祥天瑞庵

女子

其母一節用子之官其父有德名其母也

其母也

信貞

注 忠不存之族之系

母

西谷信實之孫 信貞之妻 貞田の孫 信貞女

妻

中先の孫 信貞 三田原 是二女

享保三十九年二月廿二日於江戸

厚信公沖代

安元元年甲午十二月甲戌武内井右馬

入 解及之 作後少重信但田中出信等死

同日丁丑月十日乙未沙市信實代り信實

日丁丑記

同日丁丑年二月廿七日沙市信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同日丁丑年九月朔信實代り信實

同平六月廿九日... 用... 命

同日... 命... 命

天明... 命... 命

同平... 命... 命

同平... 命... 命

某 命... 命

母 命

女子 命

母 命... 命

直信

政他

母口上

妻 小室系 飛騨守信房女

後妻 長田河波守 某蓮女

明和元年三月廿九日

後明公 沖代

天明三年三月廿九日
在勤心節、和後、
沖代、
沖代、

日中辰年三月廿九日

与後、
沖代、

日六、
沖代、

中書、
沖代、

同年、
沖代、

同年、
沖代、

同年、
沖代、

同年、
沖代、

同年、
沖代、

同年、
沖代、

物中仍古勤也
 同日壬子年十二月十日
 可中用之令下
 日下之為沙鹿
 口七乙卯年二月十日
 追致瑞子お勤也
 同八 西辰年十二月十日
 若君云
 沙路令下 戸田宗女
 若所了中令 西辰年
 日十月午年二月十日
 日年十二月十日

某 乙辰年二月十日

某女 早世

某母 早世

某父 小倉宗元

某母 早世

某 法一也

某母 小倉宗元

某 早世

某母 早世

某

七年二月苗字改海井
介三郎

母

比羅子氏
長田阿比子敏子氏

某

直三郎

母家也

某

浪次郎

母長田阿比子氏

右ノ通事所長也

高千五百石

三郎

和國甲斐
生國武彦

洋行加波北平三月三日也

南割下也

寛政十一年乙未年十二月

小笠原氏

五

未三十一日

未三月廿八日
芳合 行葉 小

小豆系 一ノ下
佐原 源
佐原 源

系譜

佐原氏
武百彦書。堀田氏之系

芳合
小豆系中督

清和源氏

小宮原

籍之級 二階美

幕之級 口二

表之級 口二

登之級 口七 初

清和天皇十代 中宮兼 信康子源

長清二十代 信康子 長次 攝男 上野

女長 章 次男

長宥

幼長智

又長升 幼名又平 信康子

母 次女

妻 次女

口姓信長子次女
中根氏に嫁

寛文九乙酉年十一月二十日姓

信長者於少志列在妻出生

元禄八乙亥年七月十四日

常憲院様御代足修程古妻於通五

子石介知々命下多命子成儀分

知量兼回字依部下毛部二月十一

日村交仕仕初之御目之

同九酉子年九月十日於本和信委

海代仕仕

日乙卯年二月二十日於信長子

長因清系平下裁仕仕前新由

五子石に清書出裁仕仕

同年二月十日 從御勘定不御村

帳信系中仕

口三層辰年 跡齋沙加高仕

余沙喉下高時時之沙加

織可洋仕仕

同十四年乙卯年九月 歸府仕仕 歸府

文選公

弘治月。并執之し。而名を

正徳之愛己年九月也。

津法子申請之与大し。中書。

命相勅中。

享保之女。丙午。六月。乙。海軍

津州。高。上。令。

同七。乙。亥。年。二月。乙。亥。津先

日。乙。己。年。七月。乙。亥。日本。津先

令。

日。乙。己。年。十二月。乙。亥。長。心。書。在。燈

津先

日。乙。己。年。八月。乙。亥。病。死。法。子
時。乙。亥。下。谷。廣。法。子。乙。亥。年。乙。亥
法。名。桂。廣。院。賢。乙。亥。年。乙。亥

知。名。于。乙。亥。年。法。子。乙。亥

長立

母 菖女 同信徳子乙亥年
中根印女

妻

酒井流。生。此。也。相。乙。亥。子
実。名。好。乙。亥。大。細。云。公。乙。亥。子

元禄七年丙午七月十日。於。日。信。徳
乙。亥。石。門。乙。亥。生

正徳二壬辰年二月二十日
御波言代 延以

文思公

部 延包 三 初 日 沖 日 見 仕
享保志 己酉年 月 日 見 志 父 以 武
考 志 子 志 武

日 下 志 志 年 二 月 朔 後 濟 志
加 志 志 志 日 九 月 朔 於 標 志 志
同 下 志 志 沖 日 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
沖 日 見 志 志 志 志 志 志
享保志 年 九 月 二 日 志 志 志 志 志 志

日 下 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
日 下 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

元文三丁午年七月廿七日
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志
志 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

女子

早世
母 茂女 日 系

某

早世

母 出家女

長端

母 〇〇

知名 〇〇

出生年月 〇〇

享保十六年六月二日死 享年 〇〇 法名 南無院 常山 紹源

長賢

知名 〇〇 〇〇

母

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

妻

本多 〇〇 〇〇 〇〇

享保六年七月二十日 〇〇 〇〇 〇〇

元文三年七月二十日 父 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

有徳公 〇〇

御目見仕

同日 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

同日庚申年六月廿七下落府内
加高与命右内内書沙先
日九月朔日於橋より河口右より
河原へ押出付時三々沙石織り
力及仕於河白書院 中目之
蒙 ころこ
同三年十月朔日 河原仕り
河原より沙石より六之部一押掛
十河沙太日目深浪より代録之
仕
延享の元 甲子年二月十三日 勘定

尾橋河内書り命下
日正并年二月七日 河内
寛延三庚申年二月朔日高
河内書り命下 勘定中 松村千吉
異書あり
同日辛未年九月二十日人長尾
并水族進沙石 命下 河内
河内沙石千吉一併 口月
河内書り 河内書り
勘定仕

室ノ二三甲年六月廿九日死年五
葬法名雲半院仁雲宗儀
長庸

母曰

元文二丁巳年六月八日能少重

原之波子七照長子子少重

某 甲世

女子 少重長子之次女喜

母 某女

女子 甲世

母 如多伊部子如盛妹
其本本在系川祀也

女子 子如盛子守節妻

母曰

初名 于波子後氏

長喜

母曰

妻 如多伊部子後考妹

延享元甲子年二月廿八日能少重

室ノ二三甲年八月廿日父師武部合

口二丁巳年二月廿日沖古力目根

後以公

浪子代を以

初公

沖目元住公

明和六年十月五日 諸所口初由今

口九月朔 於福口方口而く内順

口作如叶時云く少の威一ノ取代住

於 少白書院

沖目身家 上意公

明和六年十月五日 諸所口初由今

房く少の威一ノ取代住

明和六年十月五日 諸所口初由今

梅中口書 今

明和六年十月五日 沖目

口八年卯年九月廿二日 病死 法公二

十八女葬 口口法名 妙座院通三郎成

女子 早世

長世

初長貴 又長如 如名 萬三郎 後 中 大 孫

吉母 森川 紀 伊 子 修 彦 孫

實父 少 重 重 之 子 久 之 三 男

實母 長 方 初 之 父 長 正 女

妻 初山名 叔 房 義 佐 女 後 口 姓 中 重 信 後 子 長 福 孫

明和二年二月廿五日
於維多利亞外
於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

後明公
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

於維多利亞外
於維多利亞外

右ノ通也

二丁五子石量本回

下色部

本回中受

生回部

正色部

後方部

浦

寛政十一年乙未年十二月廿九日

未十二月廿九日出

先祖書

後方部
六百六十九番。堀田部

十月廿九日
原
七
前信平ノ二
小笠原ノ棟
土丹合根

由信部

小笠原ノ棟

清和源氏

小笠原

新羅之帝義光流胤加賀守少次郎長清
於朝時代甲斐守國信攝任忠康兼
少生母古和國義成之女少生兼上孫也

家紋

杉皮

型紋

土三羽

幕之紋

杉皮

忠康源氏子長清十六代小笠原竹原兼貞朝二男

之別幡至年部城自中室系九馬依定以嫡男
少室系兵備府唐好為依

和名不相知 左馬作

重廣

母 康女 氏不知

妻 三列破城 忠室持安元女

出守 比不知

今所義元幕下之別西幡至年部

義元死後以後永保年中ヨリ始

於現存奉屬 沖味方作

清康様

廣忠様 者神皇公不甲之候

一 永保四年ヨリ比ヨリ子孫屬 沖味方

中房 即多平八年忠晴分付中務都筑

物之末之物長 作子孫屬 沖味方

分沖味方ヨリ二年一向宗一撥

同日廿六日由是西大率計所押致

作子孫部 依忠在馬作重廣在現任

破城之種富田の由 忠元相守中

右記九年忠元後忠室持安ト云

永祿七年甲子年四月七日

柱現麻 沖道 沖判 沖誓 紙左馬 沖誓 廣
改載仕分 沖誓 紙左馬 沖誓 廣
者 沖誓 紙左馬 沖誓 廣
右 沖誓 紙左馬 沖誓 廣

神田討起清文

一 西 廣 相 遠 有 同 矣

幅 多 知 方 去 至 名 源 廣 之 以 至 所 以 切
西 去 宮 廣 山 共 此 系 小 沖 誓 紙 左 馬 八 幅 廣 紙
大 山 山 之 事

於 郡 中 諸 不 入 事 所 在 遠 有 名 矣

但 境 日 者 可 為 事 信 事

一 同 名 中 相 遠 有 名 矣 之 事

此 另 如 此 有 之 者

上 梵 天 大 尺 巾 者 皇 天 王 恐 日 中 中
大 少 神 祇 八 幅 大 蘇 富 士 白 雲 無 天 滿 天
自 立 天 神 氏 氏 念 佛 致 無 出 於 今 生 矣
白 癩 惡 癩 諸 病 於 來 世 去 無 同 可 為
者 亦 仍 起 請 更 如 伴

永祿七年甲子年四月七日 永祿 沖判

古書及傳本

富田新九郎

右 沖野成茂

他 比叡成茂三代目安藤定信

其 忠八郎 沖野成茂右衛門尉

弟 書記 成茂古來之古字

不仕

貞享元年 沖野成茂

山崎成茂 成茂

老中 成茂

三月 成茂

永保七年 成茂

成茂

永保七年 成茂

船方 成茂

成茂

成茂

成茂

成茂

成茂

古事記傳

元龜二年三月十日是列子天神之滅也
甲子朔日齊家生妻比列古傳之依重慶之介
一經天小室系與八帝加勢信公滅國之甲
列勢追攝トハ元龜三年三月十日是列
時方系沖海也

於現係

長 上意信行トハ滅國後ハ為之勸
信其心後 是也 庚申年十一月十日是列
死歲不系信在松岳院貴盛也 承胤葬也
而不知

廣朝

初名不知

姓不知

母 上列破之

小室系御律也 女

出生 地 不知

右 御中 傳

長 乙未年三月十日 降領

言 不知

柱原係 乙未年三月十日 降領 乙未年六月十日 降領 乙未年

國 葬 比 不知 信 在 松 岳 院 貴 盛 也 承 胤 葬 也

名 系 不知

姓 不知

母 父 不知 姓 不知

出生 地 不知 乙未年三月十日 降領

大徳院様

所家出奔家跡縁法寺志安寺御下

廣綱

初名不知

孫六郎

母三列被殺

由三郎孫守之

出守不知

大徳院様御下

召出

控現御下御下仕其後依 乃命柳義經

原以属不知其元甲年一病死悴後

控現御下御下仕其後依 由三郎孫守之

由三郎孫守之

大徳院様御下 以目見法元和三年四月廿日御下

由三郎孫守之

大徳院様

岩有院様御下代内由五御下由高时由九由書院由吉田

志守守御下由三郎孫守之

初名不知

安徳公

信元

母三列被殺

由三郎孫守之

喜小徳院様御下

由三郎孫守之

父一不知

年号月日不始也

柱状係

冲月見仕

一 元龜之甲午三月遠川味方京内津家
冲供仕

一 天正之亥年六月廿七長原内合戦一花出仕仕
於内之子女是也仕之役在列活活一京内
後号 甲州為押和年同防与康親少京
甚原云信元日丹波女次郎野城七十年其号
付日勝頼及一出此攻之仕也 坂本園也
中

一 天正七年九月廿九河津川持船一

柱状係

上意於野太馬元康殿和年号

一 家忠和年同防与康親少京内
考之序中其前信元家来仕也 越前守口以之
福与帝帝号名情与名年 討死仕也
二 備其於向并伊賀討死仕也

一 天正十年年夕 縁向出浪得之移傳一城京
少條家為押天正八年進九年一和年
同防与康親女也信元之長弟也 是也其也
同防与天正十年二月 移傳一子康親父入求

中材念帝其拜中田原山帝川出武孫奈人傳其間
宗述中

一 天正八年八月園承公在 佛入國公長是道一曰
从由地也上意固 國准然 曰 知以子百名

柱取權能

中兼佐元乃依信之口曰 海島被生之草也

一 二信乃在 所定公長又三列 亦言曰 船海島
被在信則不以此後每年有秋之可信乃 亦言
船海島及 所後信乃 亦言 亦言 亦言 亦言
一 同年中船乃方以年以 亦言 亦言 亦言 亦言
亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言

一 天正九年 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言

馬代秋 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言
每年年始也 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言

右例之 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言
柱取 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言

一 天正九年 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言
亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言

柱取權

亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言
亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言
亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言 亦言

為決進位元信法公

一 文福元年三月藤原長能肥前國名藩而進位
元信

一 文福二年四月信元知山内守山内權知守仕方
如多佐原之及之信法元信法

一 其長治二年七月藤原公成代長江戶 山内
右衛門右衛門藤原公成元弟十三年新九年

廣福五年八月 伊予五劫野州山内
道平山内山内藤原公成

表 上意公之也、之也、進位元信法

三月 伊出島之也 暫別九能去隔之也 押尾別

伊出島 早連之也 伊出島之 山内藤
原尾別之也 伊出島之 伊出島之 伊出島之

九月 伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也
九月 伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也

伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也
伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也

伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也
伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也

伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也
伊出島之也 伊出島之也 伊出島之也

一 廣長七言年知以不便指し家 仰免其處
周唯那富村 在長年始也礼之長公集廣法
且中入回以後年月不記於戶八町地所
有廣法富永之子年八月廿三日河内國廣長
新橋末中尾發之五軒發之戸知也
治月子長七言年七月廿八日於富村病死
享年三十九少法長慈照院彌林三彌知以新
上德公因取部 西川村善提正尊山正前
葬中

信實

淨慈

母 父之姓名不記

妻 陸州高田郡大宮町 富長能之信通女

由牛一地不記

右德為廣長之定廣三男源三帝廣信男也
信元男子長長身以好習之續之有少女也
八卯年八月不知部信元之始也

信元傳

信元傳

信元傳 信元傳 信元傳 信元傳 信元傳

信元傳 信元傳 信元傳 信元傳 信元傳

信元傳 信元傳 信元傳 信元傳 信元傳

信吉因准那西川村家胤山三冊等
華中ハ

信吉 初吉乃信政 後丹波守

母 後河内守清房太皇太后富世能重吉信通女
大丹波守俊朝少子信文孫也信重孫也信白
早世信吉有祖父信元少以元和元年事信白

大融院様ハ 信白之信公之後信吉院為上ノ身入也

信白或別是云云之由也地方四百名云々

之由也實之云云二月云々

少左有院様ハ 中兼新院所新院ハ 信行様

川西成於中川清ノ川ニ有古名也如神ノ事也
即此合古名也凡信公於赤坂ノ身ノ三湯園
也凡信人為歌也延喜丁巳年信朝所收
中兼院長家督安南邊將也凡信也
下至將而本以信公之信也信也
之由也利智也信也凡信也信也
中兼公在勅中ハ信公也信公也信公也
信公也信公也信公也信公也信公也

初吉也 信吉也

信實

母 後河内守清房太皇太后富世能重吉信通女

書之序

上卷之序

右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序

一 卷之序

卷之序

卷之序

右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序

右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序

右卷之序

右卷之序

一 卷之序

右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序

右卷之序

一 卷之序

右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序
右卷之序

右卷之序

一 元和三年

台徳院御許に居る者お別を水内高古物同九年

台徳院御許に居る者お別を水内高古物同九年

西三年

台徳院御

大徳院御許に居る者お別を水内高古物同九年

十月九年西三年六月西三年

山内高古物同九年

徳院御許に居る者お別を水内高古物同九年

西三年六月西三年

山内高古物同九年

徳院御許に居る者お別を水内高古物同九年

西三年六月西三年

山内高古物同九年

徳院御許に居る者お別を水内高古物同九年

西三年六月西三年

山内高古物同九年

台徳院御

徳院御

三年ノ秋上法

右田原保津代々永井信房より久喜山若丸九備山若丸
治平一考之四考之五秋上法は後中世也
大敵流保津代々

常憲院保津代々十初考之五秋上法

一 寛文十三年二月丙申礼部之海舟遊學以後何故
考後考及之世大和及秋元信島より福多考
皇徳考及之秋元信島より保津代々内海考元
久喜山若丸より久喜山若丸大和考元
考元信島より久喜山若丸大和考元

近世之海舟日海を横断する者多し其の考元
は久喜山若丸より久喜山若丸大和考元
年十秋上法は皇徳考元秋元信島より久
喜山若丸大和考元保津代々考元秋上法
考元海舟考元一後考元考元考元考元
考元考元考元考元考元考元考元考元
考元考元考元考元考元考元考元考元

一 伝説の海舟文十三年七月廿九日江ノ島
初紀傳年六十考元法名実考元正伯宗周
考元考元考元考元考元考元考元考元

京胤山正嗣寺葬中

信孟

初名

御名

母 家女

氏 名

出生 地 不知

右信孟不明了二丁酉年六月廿四日生

右有院御下 御目見信孟後不物見之在御見元之是

知所不承也之延年矣月之不知痛能仕公五歳

松平彦彦守之次来之不知

長身

初名

御名

母 家女

右 名

出生 地 不知

右長身之是文也丁酉年八月廿二日生

右有院御下 御目見信孟後不物見之在御見元之是

知所不承也之延年矣月之不知痛能仕公五歳

松平彦彦守之次来之不知

長身 初名

御名

母 家女

女子

母 家女 右 名

此等之由公因情之由事理同能於此其進

女子

母 友女

古同

當其方大官日留至中務少輔左中少輔妻

始方代信尚

信賢 長義

長生

長任

母

友女

氏少知

妻 山和子

向并將監忠婦女

在書後明之元正年四月晦二福死法

後妻 日光寺

依後妻何子言似女

上之信 言出信法

定永十之元年二月十日 始信信言出信日海浪

馬代以始言

大融院神多 神日之信二保二乙年六月大町十七少言

始信信言 言出信言信言信言信言信言信言

信言入 信言信言信言信言信言信言信言信言

信言信言信言信言信言信言信言信言信言

信言信言信言信言信言信言信言信言信言

信言信言

母 右口
小室信正内度出御子之礼也信正帝久恭奉
水御

長成

母 氏不知
母 氏不知
母 氏不知

妻 氏不知
氏不知

弟 氏不知
弟 氏不知
弟 氏不知

弟 氏不知

常憲院係山始也 神月之信宮永寧二年七月廿
父長女史亦物り下也小室信正内度出御子之礼也
同年七月廿廿日信正帝久恭奉
上之信正内度出御子之礼也
中室信正内度出御子之礼也
下室信正内度出御子之礼也
同年七月廿廿日信正帝久恭奉
同年七月廿廿日信正帝久恭奉

有九子之通限也 作身家皆宜子而所
經者之上下至宜于二名五年正月其子
病歿年八十少法存子之德任無志誠之行
不之同寺葬

義信 初名尾知 壬申

母 友女 氏不知

大正甲寅年享保二十五年八月其子長信
和子信之等子死分念中其子中之長信
其子中之長信

女子 二世

母 友女 右日

女子

母 友女 氏不知

小童信之及出月其子死分念中其子中之長信

子 友女

女子

母 友女 右日

小童信之及出月其子死分念中其子中之長信
離家信之及出月其子死分念中其子中之長信

成定 二世 其女

母 右同

女子

少

大島信子満妻

母 右同

女子

少

渡部信子貞妻

母 右同

女子

少

坂本信子正恒妻

母 右同

長保

母 家女 氏名

長保信子正保妻

女子

少

人見全子正妻

母 尾名氏女

長恒

母 家女 氏名

侍

長恒信子正恒妻

長之

母 家女 右同

氏名

女子

少

志保信子長與妻

母 家女 右同

信用

始末信子内通 伊豆子 始末清

母定正院院以

大皇太后了志了女

奉

江戸 三四廿日

享保十三年十月九日

有正院係御代父帝力奉替りてに由り申上候儀其
御意申上候事同申上候事十月廿七日
馬代に御用申上候事同申上候事十月廿七日
申上候事同申上候事同申上候事同申上候事
後事申上候事同申上候事同申上候事同申上候事
を申上候事同申上候事同申上候事同申上候事

乙未年十月廿八日外知巡見申上候事 御身同

乙未年三月十日外知 御身同 御身同

令此様取申上候事同申上候事同申上候事

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

御身同 御身同 御身同 御身同 御身同

惟信院様於 御身同 御身同 御身同 御身同

恒寬

左昭

恒寬為教公四年十月十日卒於京都
恒寬為教公八年十二月卒於京都
恒寬為教公九年三月卒於京都
恒寬為教公十年四月卒於京都
恒寬為教公十一年五月卒於京都
恒寬為教公十二年六月卒於京都
恒寬為教公十三年七月卒於京都
恒寬為教公十四年八月卒於京都
恒寬為教公十五年九月卒於京都
恒寬為教公十六年十月卒於京都
恒寬為教公十七年十一月卒於京都
恒寬為教公十八年十二月卒於京都

恒信院

恒信院為教公九年六月卒於京都

恒信院為教公十年七月卒於京都

恒信院為教公十一年八月卒於京都

恒信院為教公十二年九月卒於京都

恒信院為教公十三年十月卒於京都

恒信院為教公十四年十一月卒於京都

恒信院為教公十五年十二月卒於京都

恒信院為教公十六年一月卒於京都

恒信院為教公十七年二月卒於京都

恒信院為教公十八年三月卒於京都

信角 秋田大和守領三好寺の長長寺子孫也

母 家女 氏不知

右近衛家幼少の白明和守の長長寺子孫也

初死年 亦乃信長安祥院法山長長寺

信時 和勝寺 信長寺

母 家女 康平外方乃通寺女

右近衛家幼少の白明和守の長長寺子孫也
山内寺地也長長寺子孫也

女子 早世

母 家女 右目

女子 早世

母 家女 右目

信甫 始建之物 自通 無原長城 長長寺 信甫

母 家女 氏不知

妻 西在信長寺也 長長寺子孫也

明和二年 正月 病死 信甫 後妻 大寺女 酒井紀子 志貫女

江戸島田生仕
安藤玄子氏文任等二男中左近為左膳候
御免候日之痛死より御意等二男也取
一 安藤玄子氏家ノ九代年二月朔日御免候日
山崎日守浪馬代也

性位院存

性位院存始也

御免候日之痛死より御意等二男也取
一 安藤玄子氏家ノ九代年二月朔日御免候日
山崎日守浪馬代也

其の中流ありし者入之 御免候日之痛死より御意等二男也取
一 安藤玄子氏家ノ九代年二月朔日御免候日
山崎日守浪馬代也

熊三郎

早世

母

早世

小室宗正斗義信也

女子

母

早世

右田宗正宗政壽喜

氏派

母

早世

母

右田

女子

母

早世

母

大南氏

河井氏宗忠母也

女子

母

早世

母

右田

女子

母

早世

白河氏宗忠母也

母

右田

佐編

佐編

兵原

實父味也

出雲守信長信用也

母 家女 宗牛

右井氏宗通孝女

妻 内侍氏

宗正氏宗忠女

宗正氏宗忠女

宗正氏宗忠女 宗正氏宗忠女 宗正氏宗忠女 宗正氏宗忠女 宗正氏宗忠女

以傳之劫之志也之氣中少後及之志也
 之子也之志也之志也之志也
 一 沖之志也之志也之志也之志也
 此番有劫之志也
 一 先祖本應之志也之志也之志也
 一 海多殺生 沖之志也之志也之志也
 猶和是出中之劫之志也之志也
 帝憲院在傳所代自享之志也之志也
 其後也
 母 沖之志也 世 宮憲院之志也

女子 母 右同
 女子 母 右同
 女子 母 右同
 信賢 母 右同
 右拾松美和之男也之志也之志也
 右拾松美和之男也之志也之志也

二男五郎、信公

女子

母

右日

右通下等以上

上院部
左院部

高千代宮名

上院部
左院部

中國史文書部

中院部
左院部

左院部
新編集

寛政八年丙午十二月

出雲守兵庫

馬

赤三月
太田忠房子

清和源氏
九條重忠

堀田重忠

系信

と五棟

原

粟

沙古院当

太田忠房子

出雲守信之信

源氏

小倉源

清和天皇後醍醐天皇
之男加々次信長与孝元十二代
信長与貞朝信長國之經小倉源之政

幕之紋 三路菱

衣之紋 三路菱

笠之紋 五七桐

小倉源信長与貞朝源氏

直次

母 初名
大久保右子元信家女

妻 菅原公

出生年月

父忠三原孫長其度信成佛系次
部太博一原政沙之口月波平
為所信之物用

名由公

長安縣對之口中之以以志

元和七年丙午

大猷公

八右忠之正次之 臣部清平世祖上府
善入今令沙仰系部百儀在凡世其
後百儀免兩度又重之沙仰係一初
此百儀上之至 功令之各名一地方江

命 辛卯月 乙卯日

延宝六年壬午五月五日亥歲卯初下
養長之子 葬中法名 妻之 院通稱
日澄

妻之

行三信

母 原女

妻

山陰守

七之孫定政女

生年月

長安院攝沙代

水應三 癸卯年 甲申月 乙卯日 丙辰時

常憲公 沖代

命勅少北條右進兼總一節七千七百
成化二年沙書 沙免年於延

宣永之西元年於通沙書 沙免日
命乃沙書員令成後存此法沙書
後他大之保立書此後入之後大之保後
隨子後之節

同日五戊子年十一月廿六日死甲子
葬乃乃 法名 隆禮院通長日壽
女子 宣永并中乃乃宣信妻
母 家女

女子 深乃乃之節之後妻
母 家女

長子 八女

母 博公七之孫女
妻 宣一

武乃乃白戸生
元祿六年癸酉年十二月九日從於此
沙書入乃乃沙切其乃乃保乃乃
沙書院書大田院乃乃入
宣永五年子年十二月廿日 父乃乃乃乃

之帝... 皇之孫武
之後... 皇孫武
皇孫武... 皇孫武
皇孫武... 皇孫武

長紀

壹井修之

母 友女

富永元... 二月... 信修... 皇孫武

長洞

長洞

實父

小室宗年... 政房男

實母

真田... 正邑女

妻

柳原... 藏長女

江戸生

中長父... 長月... 實父... 實母... 妻... 江戸生

有孝公

乙未年二月十八日... 命

子也凡長定後

家ノ子也未年三月十日死ハ方死後

五服ニ仕立テ了ル知

以年十二月廿三日死シ色ニ仕立

信徳ト及侍シ一服合田在リ

澄明公 沙代

明初元甲申年九月九日父長相

死日年十二月五日父長相御式死

着シ方内宅中列死河部信徳及

侍シ小室信徳去リ了ル死シ

以年十二月廿三日自一沙代也

明子代ノ以中古ニ後初首与比右
歩ク事記ノ節

以年十二月廿三日沙代也

著入ノ命方終了ル沙代也

中列死相年同防方也侍

以年十二月廿三日入

定以八月辰年十二月十日西

命方終了ル沙代也

定也

安永二年己卯九月朔

諸府在也

五物也服之臣

のふ親

りて西甲午年十一月口毛

沖社系瑞子少佐女親の死

少佐女親の死

定以て乙卯年三月廿一日少佐女親

瑞子少佐女親の死

少佐女親の死

女子

少佐女親

山崎長久高美妻

母

女子

母

清少細戸松山長久の死

女子

大正

山崎長久の死

母

長義

高美

母

高美

山崎長久高美妻

女子

高美

山崎長久高美妻

母

系譜

源
去後

孝子
多敏

長和原氏
六百四十四
海國

小善
小善

女子

母

女子

母

右

言

長

寛政

山

五

五月廿九日 羊少乃之令 候

中野 但
乃乃乃乃乃
中野 源之乃

礼部儀 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

一高野の儀 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

一礼部儀 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

原附

中野 源之乃

中野 源之乃 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

中野 源之乃 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

中野 源之乃 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

中野 源之乃 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

中野 源之乃 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

中野 源之乃

中野 源之乃

中野 源之乃

中野 源之乃 儀部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀 兵部儀 刑部儀 工部儀 戸部儀

天正十二年甲辰年九月廿七日

神君内儀仕内之子女也

天正十二年六月廿七日長原内合戦
信長伏撃死内之子女也
天正十二年八月長原
山内致遠在舟泊見敵別將甲辰年
因勝之原史少室系也信元曰
天正十二年八月十日勝原
出江攻之
徳園、年々

計若以

天正十二年九月廿九日
上意好地亡了元原
天正十二年八月廿七日

相平國房与康成方多系也
天正十二年九月廿九日
此者元子各掃上吉
向井公方討死也

天正十二年九月廿九日
永乃押

天正十二年九月廿九日
天正十二年九月廿九日
天正十二年九月廿九日
天正十二年九月廿九日

之知此合我法信元家朱山宮京市元大宮御所
御所法三好信成永之其降法信才諸山宮京
白如加信乃乃信信子石之也也信元法信
天正八年宮京市山田京御所之信也信元法信
神君神人教信信元一切信根信乃神山御所信元

山田京人教信信元一切信根信乃神山御所信元
同年二月九日信元之子山田京人教信元
信元家朱信元信元信元信元信元信元信元
中討之信元信元信元信元信元信元信元
同年三月廿七日信元之子山田京人教信元
信元之子山田京人教信元信元信元信元信元

信元之子山田京人教信元信元信元信元信元
信元之子山田京人教信元信元信元信元信元
信元之子山田京人教信元信元信元信元信元
信元之子山田京人教信元信元信元信元信元
信元之子山田京人教信元信元信元信元信元

神君信元信元 神君信元信元 神君信元信元

天正九年信元信元信元信元信元信元信元
信元信元信元信元信元信元信元信元

神君信元信元 神君信元信元 神君信元信元
神君信元信元信元信元信元信元信元
神君信元信元信元信元信元信元信元

定て其の事なり 國通史に在 漢河内

其の事大なる事 七月景福中降し高麗

中條大橋山門し山番山景宗為應隆元年因高麗

唐橋ありて 作有國東山山今在 遺所

景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

中出島山同橋別之是大橋也乃神屋列所橋

上りて山也 上意 山出津山 前上

所為し山江平又七帝之景隆景隆山景宗也既云

信之因山景宗唐橋在城上九是也大橋也乃神

山國之 上意 山利運山清以 上意山

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

上意山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

山景宗山景宗 山門之は山分國宗上りて

信守

海恩

母 其母景宗下 三浦信守 景宗妹

妻

天正三年正月十日

右様此信言候事御覽下候事
三月廿二日
信長

信長

書

母

信長

書

右様此信言候事御覽下候事
三月廿二日
信長

右様此信言候事御覽下候事

信長

右様此信言候事御覽下候事

右様此信言候事御覽下候事

信長

信長

母

書

天正三年正月十日

右様此信言候事御覽下候事
三月廿二日
信長

日二庚申年十月廿八日

日七辛酉年十月廿九日

日八壬戌年十一月一日

日九癸亥年十一月二日

日十甲子年十一月三日

日十一乙丑年十一月四日

日十二丙寅年十一月五日

日十三丁卯年十一月六日

日十四戊辰年十一月七日

日十五己巳年十一月八日

日十六庚午年十一月九日

日十七辛未年十一月十日

日十八壬申年十一月十一日

日十九癸酉年十一月十二日

日二十甲戌年十一月十三日

日二十一乙亥年十一月十四日

日二十二丙子年十一月十五日

日二十三丁丑年十一月十六日

日二十四戊寅年十一月十七日

日二十五己卯年十一月十八日

日二十六庚辰年十一月十九日

日二十七辛巳年十一月二十日

日二十八壬午年十一月二十一日

日二十九癸未年十一月二十二日

日三十甲申年十一月二十三日

日三十一乙酉年十一月二十四日

日三十二丙戌年十一月二十五日

日三十三丁亥年十一月二十六日

日三十四戊子年十一月二十七日

在留保方信直上歸行通而朱之方信直乃後
料父母信直行在歸後預休
元禄八丁亥年八月十日卒齡九十一葬小倉正
三年八月十日卒院預休日顯

信直

信直乃 信直乃

母 布花源高女

妻 山崎乃氏 布花源高之親女

正保元年申年八月十日卒

信直元乙亥年八月十日父身信直在信直乃

岩原七初

實文三亥卯年十二月十九日父身信直在

新流河新洲之長尾政房之長女信直乃

父身信直乃國高乃親女

同元乙亥年十二月十日父身信直乃

延文丁巳年閏三月十一日母身信直乃

信直乃命家信直乃信直乃信直乃

信直乃父母信直乃信直乃

天和元年丙午三月廿二日父身信直乃

信直乃命家信直乃信直乃

同年四月十日信直乃命家信直乃

口年三月六日板倉行豫下門後口月海海舟儀
り之季四丁卯年六月九日取 少能く召出之
板倉より久し疎中より命下五節中
元禄二己卯年六月十日行日身儀命下五節中
卯年三月廿九日行日 伊能と命下五節中
二月廿九日行日 伊能と命下五節中
元禄二丁卯年二月十日行日 伊能と命下五節中
享保二丁卯年七月二十日行日 伊能と命下五節中
号 佐入 院通 院日持

女子 中入 院通 院日持 伊能と命下五節中

母 在施古海舟女

女子 伊能と命下五節中 院通 院日持

母 七日

某 之妻 早世

母

知名中 院通 院日持 伊能と命下五節中

長見

母 在施海舟女

書 少形 高七 院通 院日持 伊能と命下五節中

延宝二丁卯年生 院通 院日持 伊能と命下五節中

元禄二丁卯年九月十日行日 伊能と命下五節中
卯年三月廿九日行日 伊能と命下五節中

元禄十二年三月の事
今將七人の長光蒙御賜書信水神
その事他は...

口上書
八月...
...

元禄十二年六月

...

...

口上書

...

...

...

...

...

享保二十二年四月廿日父世宗公在生之日
申於了九方名一日申乃名申中宗公在生之日
長章上郎也申乃名申中宗公在生之日
七之志昭也申乃名申中宗公在生之日
享保二十二年四月九日申乃名申中宗公在生之日
了力揚傳也申乃名申中宗公在生之日

元文二十二年同三月廿二日西谷山内住持和年
傳後也申乃名申中宗公在生之日
定保之妻高年三月廿二日申乃名申中宗公在生之日
今下古公年三月廿二日申乃名申中宗公在生之日
延文二十二年九月廿二日申乃名申中宗公在生之日

三月廿九日申乃名申中宗公在生之日
以初九日申乃名申中宗公在生之日
号善入院休山日喜

長章 左三傳

母 申乃名申中宗公在生之日

享保二十二年四月十一日父世宗公在生之日
申乃名申中宗公在生之日
申乃名申中宗公在生之日

長章

母 申乃名申中宗公在生之日

妻

西乃之房

年過六十一之女子

後妻

西乃之房

中宮東御所之御女

後妻

西乃之房

中宮東御所之御女

延享四年九月廿五日

人命御體湯家之御女

七戸島之文記

延享五年九月廿五日

山陽之御女

延享九年九月廿五日

右衛門左衛門

安永九年八月廿五日

改葬休

寛政九年乙巳年正月

日不号 玄妙院 殘休 日唱

正長

母

寛政十一年十二月

長久 毎日の

口母

源太馬長貴尼女

女子

母 口口

治大内事初級之妻 上嫁于藤原新公は元平

女子

母 口口

刑部左大臣

岩村吉貞之信妻

行年

六二

母

加賀守藤原氏女

妻

口口

藤井久美女

室戸丸之介平生月日口口

安永九年八月廿日父吉之長息於海濱
小令家智徳之菊(口口)平吉妻信女時女官信
口口口口口口

天明二二 宮中 八月廿二卒 葬三石

葬口口口口口口口口口口口口

長賢

始信以帝 信信口口

母

加賀守藤原氏女

天保二二 宮中 八月十八日 兄二二卒 信女口口

長賢

信信口口 信信口口

長賢

信信口口 信信口口

美文

出系七五ノ其奥以男

美母

加茂精彦女

明和之西 咸年八月十九日生

其父六三市行五條

天明二三年八月十九日 物取屋重田男之口

身ノ懐方社法多名子之口九月十九日

以年十二月六日吉辰月陽分南ノ方之世

傳心文書館之孫子之口

以年二月二十二日佳日少礼物取屋重田男之口

口爾ノ口細之

定政元己酉年 六月九日臨終ノ口

其死ノ方多ク其母傳心是也之傳田由重田ノ口

某

金三郎

母

灰女

某

源次郎

和子前女也

母

口

某

母

口

口

有(延)沙(能)以(上)

七百石

為休
取免

本是早變生田取免

洋辰田邊小石川島場後

三十四歲

寛政十一己未年

小三原津久右

五

七

信和原氏

即方五十九番
海田寺元右

小三原共原分

一系原

未丁二月十日
高木津邊分
立株

内小原也

高木津邊分也

小三原共原分

源氏

小倉系氏

苗字ありしは、初代

出立系無二庫書上名

幕之紋

九之目之形

新羅之系、義光之代、出立系長清、孫之代、信胤、
出立系身朝、曾孫、羽田、是、寺部、之、城、也、
出立系左馬、依、定、政、之、代、出立系安藤、信、盛、之、三、男

長貞

云々

母 康女

書 之 口 信

寛永十九年二月廿九日生江府

寛文四年八月十二日

少者有之 初名 冲目足

日七丁未年十一月廿二日初親家 以 此 書

院 高 仙 石 因 情 之 由

日十丁未年九月諸河 此 書 之 後 為 之

長 史 也

日十一丁未年十一月十二日兄長 長 史 也

日十一丁未年二月廿九日兄長 長 史 也

少中 長 史 也 日 初 親 家 之 由 信 之 口 信 也

元禄十一年九月廿九日 流 有 也 初

合 史 也 也 也

日十一丁未年二月廿九日初親家 長 史 也

也

日十一丁未年二月廿九日初親家 長 史 也

日十一丁未年二月廿九日初親家 長 史 也

長 史

子 之 初

母 康女

妻 之 口 信

日十一丁未年二月廿九日生江府

安永五年甲午六月十八日死之予元壽以号予宗家院晴云

信興

至平兄名子孫

母 叔女

女子

西名内名子孫
出立原安藤云与佐南妻
母 以云

信興

始能吉 一己子

玄母

信以名

玄父

出立原一己子一義信次男

玄母

叔女

妻

進

在古而一威叔女

少妻信叔女并信云云

寛延七年甲午二月十日生江府

安永五年甲午六月十日急出立原

以九月十日海月少妻信叔女或叔女配

以九年甲午十一月廿二日初百

清明公上清目見

天明元年甲午九月十日於次上園的

上後出初 倫子 奥清洋氏

以二年甲午三月廿七日中住但去之保

玄母也

以云己年丁三月廿九日於 弟云山守

寛政七乙未年三月朔
小葉山應持
之良 跡多 瑞之 吉物 中

佐保

吉十郎

母 進 亮 左 衛 門 成 明 女

邦 乳

吉十郎

母 以 以

能 忠

海之助

女 子

母 以 以
有 名 以 吉 忠 左 衛 門 成 明 女

母 以 以

女 子

母 以 以

右之通 少 彦

高 三 百 石 上 徳 四

和 國 甲 斐 生 國 武 氏

長 岡 彦 右 衛 門 守 持 可

寛政七乙未年三月 小葉山 彦 守 持

年 四 十 八 公

佐 興



在
五ノ株 源

系譜

天正三月廿八日
此書を以て終りし出

清和源氏
六百二十六番 堀田重光

小笠原信氏
此書を以て終りし出
山内重光

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

源姓

小三原

新羅三帝義老五代出三原長信五代之後胤
出三原大朝次男三列轉延年志一城之出三原
乃唐佐定政口付未葉出三原孫延信言次男
小三原丹波守信吉

信吉家前之系三原信延祖祚誠隆子孫
本家出三原孫有長信之方ヨリ書出也

出旗之紋

九之階菱

幕之紋

右ノ形

帯之紋

あ七ノ相

高氣丹子氏

以和元甲午十月十日於此處小養德文

作有云波太字子氏之良

以二酉年八月四日於此處源孫氏

而永元辰年九月七日宿於法山甲申二十七日

有懷若四年十月葬法山甲申院丹成日元

長行

長子帝 初名在止 左近

母

同上

妻

大也者 是及下世也

佐理成子之女

元文元年八月廿三日於此處出生信公

信信院孫氏代

此子系在之滿 大少毒酒并飛仔子組去幼也

和文

定延三年二月二十日二條出處山信公之長

孫加信公

伊月見信公之後

以和二年八月廿五日父長氣中善信但七及

大學之紀之節於此處源孫氏 作有

家督長行 以上云云以分於其間 同國中

山別見何部也 慶亨及之信信如父時中善信

女子

母

家女

長女
忠孝系長子長女

長孫

養母

家女

實父

忠孝系之助長女

實母

家女

妻

忠孝系長子長女

安永元年十一月十六日於江戸市生仕

小倉後組河野誠重子長女忠孝系長子

安永元年二月九日於江戸市生仕

安永元年二月廿七日於江戸市生仕

安永元年三月廿七日於江戸市生仕

安永元年四月廿七日於江戸市生仕

安永元年五月廿七日於江戸市生仕

安永元年六月廿七日於江戸市生仕

安永元年七月廿七日於江戸市生仕

安永元年八月廿七日於江戸市生仕

安永元年九月廿七日於江戸市生仕

安永元年十月廿七日於江戸市生仕

安永元年十一月廿七日於江戸市生仕

安永元年十二月廿七日於江戸市生仕

洋風勿失之云云

高武百石武藏國

如國年史
其國武藏

尚方若引馬場後山幸路氏和紙
後引了去配山幸路氏乃有伴他
任宅法

寛政十一年

水主系助之印

未十二月晦
口傳也

系信

信源氏
山幸路氏

五原

西乃内膳方
山幸路氏

美十二月廿
美漢内五綱書行 西名曰傳為云
少主系全書

光

四代目 始孫多 收改全書

直過 孫初少

母 天行家藏之元 陽子百中中女
妻 大正五年 富田 吉之 惠 直過 吉
定 明治三十二年 十二月 一日 改 直過 大正
五年 十二月 廿九

母 富田 女

母 孫 孫 孫

右孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫
右孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫
右孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫

後賢 本道要人

母 孫 孫 孫

定 明治三十二年 十二月 廿九
本道 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫

母 右 孫 孫

母 右 孫 孫

直 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫
母 右 孫 孫

孫子常定寛以十年年二月病死
以年三月病之三男也

某 湯太市

母右リ

寛以二十五年生知公系信く日
男也公生以書而しては公の

一曰公山道有右左網中云以之

三月 小三系全之信

源姓

小三系

信知云是故風新羅甲受守其光三男加賀其信成子
是光十三代孫信成子其孫信成子其孫信成子其孫信成子
以下右有細了其代目之中心相初不中少三系

孫子常定寛以十年年八月病死

大徳云一云山左右南行一云山左右南行一云山左右南行

孫子常定寛以十年年八月病死

孫子常定寛以十年年八月病死

孫子常定寛以十年年八月病死

孫子常定寛以十年年八月病死

直仍 其孫常定 以十年八月病死

母 孫子常定 以十年八月病死

孫子常定 以十年八月病死

孫子常定 以十年八月病死

孫子常定 以十年八月病死

孫子常定 以十年八月病死

其後至和歌山 自江古依
自寛文元年九月廿九日申至可年行
元禄元年正月廿九日申至可年行
其川田之深 蓮花寺号 吉田虎口溪

彦雄

彦雄 彦雄 彦雄

母康女

妻 大日女

彦雄 彦雄 彦雄

延宝二年四月廿九日申至可年行

元禄四年正月廿九日申至可年行

元禄五年正月廿九日申至可年行

元禄六年正月廿九日申至可年行

元禄七年正月廿九日申至可年行

元禄八年正月廿九日申至可年行

元禄九年正月廿九日申至可年行

口年二月廿九日申至可年行
其後至和歌山 自江古依
元禄元年正月廿九日申至可年行

彦長

彦長 彦長 彦長

母 彦長女

彦長

元禄元年正月廿九日申至可年行

元禄二年正月廿九日申至可年行

彦政

彦政 彦政 彦政

母 彦政女

彦政

彦政

彦政

宣徳三年二月廿七日自後知任入大内事
但
年月日名無二条出高院及中丸
葬りし 号正女正院正院

直良

美 出雲守 御下 廣長 長男
妻 露日書 松任信之史 正女

母 友女

宣徳三年三月廿七日生
宣徳三年七月廿七日攝子
宣徳三年九月廿七日入水并照而之記
宣徳三年十月廿七日西在河内
宣徳三年十一月廿七日入大内事
宣徳三年十二月廿七日入大内事
宣徳三年十二月廿七日入大内事
宣徳三年十二月廿七日入大内事

葬りし 号 宣徳院光道

政利

母 友女

明徳三年十一月廿七日生
宣徳三年十二月廿七日入大内事

女 天

母 友女

直軌

孫 宣徳院 宣徳院

母 松任氏女

妻 宣徳院 宣徳院

宣徳三年七月廿七日生
宣徳三年八月廿七日入大内事
宣徳三年九月廿七日入大内事
宣徳三年十月廿七日入大内事
宣徳三年十一月廿七日入大内事
宣徳三年十二月廿七日入大内事

天明三年二月廿九日... 相親... 口二... 後... 山... 定... 有... 口...

女... 九...

母上曰

母上曰

天明三年十月...

女... 輔...

母上曰

母上曰

天明三年...

直

母上曰

天明九年...

天明四年...

天明四年...

天明四年...

葬上り了 号新流り迄

某 孫子

母 高田氏女

女

後賢 本道要人

母 高田氏女

寛政九年六月廿七日 高田内記 本道要人

高田 常力 文化三年十月廿六日 高田内記

母 上日

寛政十三年三月廿二日 高田内記

某 湯子

母 上日

母 上日

母 上日

有 高田内記

高田内記

寛政十三年

牛込内記

小高田内記

五

と
九ノ探 原

系種

申云四月十日
中務河内守

法和源氏
系種百九拾二番。物白書

大内長宗河内守組
忠宗 大内長

台任公奉仕 古坂 河津内伏
元初元年 三月廿七日 后回 長西郡上野村
三月廿七日 河津内伏 河津内伏
元和元年 河津内伏 河津内伏
河津内伏 河津内伏 河津内伏
河津内伏 河津内伏 河津内伏
河津内伏 河津内伏 河津内伏

正光 乙卯

女母 小室多氏女
實父 上野郡 菅川 大寺
實母 女
妻 小室多氏女 直光女
后妻 小室多氏女
定永 女 三月十日 河津内伏

定永 九年 三月十日 河津内伏
定永 十年 三月十日 河津内伏
定永 十一年 三月十日 河津内伏
定永 十二年 三月十日 河津内伏
定永 十三年 三月十日 河津内伏
定永 十四年 三月十日 河津内伏
定永 十五年 三月十日 河津内伏
定永 十六年 三月十日 河津内伏
定永 十七年 三月十日 河津内伏
定永 十八年 三月十日 河津内伏
定永 十九年 三月十日 河津内伏
定永 二十年 三月十日 河津内伏

正勝 乙卯

母 小室多氏女
妻 小室多氏女
妻 小室多氏女

女 大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

母上同

女 内産家子 初 松枝法正史妻

母上同

西直 久保内 左子

母 甲子年 後通 妻 子 女

妻 大正九年十月廿九日 親家女

夫 大正九年十月廿九日

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

元西直 左子

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

大正九年十月廿九日 出生係九歳妻

享保十六年八月梅丸廿九
葬りて号 兼冬 乃 敬
女 大野野田屋 三郎 守 又 十 一 以 勝 妻
母 上 日

正 則 之 次 子 初 名 三 子

母 大 橋 氏 女
妻 島 崎 氏 之 女

元 保 正 三 年 生 即 亡
享 保 三 十 三 年 二 月 卯 日 入 葬 可 久 元 正 月 卯 日
少 礼
享 保 十 八 年 二 月 卯 日 田 中 内 田 氏 之 孫 妻
口 年 二 月 卯 日 入 之 所 書 海 井 氏 之 孫
享 保 二 十 九 年 二 月 卯 日 入 之 所 書 八
葬 り 之 所 之 所 書 葬 四

某 三 十 年 六

母 上 日

祭 道 之 末 海 邊 氏

母 上 日

享 保 十 八 年 七 月 卯 日 海 邊 氏 之 孫 王 氏 之 孫

某 永 子 夫

母 上 日

女 大 野 氏 孫 氏 之 孫 後 名 清 之 孫 辰 隆 氏

母 上 日

女 内 野 氏 孫 氏 之 孫 島 村 新 氏 之 孫

母 上 日

正 則 之 次 子

母史女

正勝 樂一也

母上白

古永二百年十月廿八日死十二女

葬日也号美云常福

正命

大右

美云

母小美史女

妻柳同造名利在系依新别也

明和元年十月廿三日生我

天明元年十月廿三日入野在依後

天明二年二月廿三日死

天明三年十月廿七日入女所妻初早也他

在富教七交

正命在富

正命在富

正命在富

正命在富

正命在富

正命在富

正命在富

正命在富

女

母上白

古永二百年十月廿八日死

葬日也号美云常福

母上白

古永二百年十月廿八日死

葬日也号美云常福

茶 産系ノ大

母之利氏女

寛政八年十一月三日生江戸
口年日月廿九日

養育ノ号 瞬齡彦子

女

母之曰

女

母之曰

右ノ通世所ノ以上

高之石 生女我多

四ノ百係

寛政十一年己未年十二月

出立系大者

五

未十二月廿九日
森川成徳公

法和原氏
字之平一也。 堀田豊彦

系譜

在原
九

小倉系譜

清和源氏

小治政氏

是祖信忠公孫人小治政氏因信忠公孫男中治政

因信忠公孫男中治政氏之後

神君公孫男中治政氏之後有公孫男中治政氏於年月日

葬於本末方石中

養正氏

之孫養正氏

家正氏

九月四日之孫養正氏

同養正氏

六七嗣

小室宗四郎物五十五代目
小室宗久乃乃山元次男

山元

小室宗八郎乃乃

母

山元之妻
板屋少乃乃其女

妻

山元之妻乃乃其女
板屋少乃乃其女

安文土平
安文土平乃乃其女

安文土平乃乃其女
安文土平乃乃其女

同三子平乃乃其女乃乃其女乃乃其女
切平乃乃其女乃乃其女乃乃其女

右室

右室一己乃乃其女乃乃其女

乃乃其女乃乃其女乃乃其女乃乃其女

乃乃其女乃乃其女乃乃其女乃乃其女

乃乃其女乃乃其女乃乃其女乃乃其女

乃乃其女

乃乃其女乃乃其女乃乃其女乃乃其女

乃乃其女乃乃其女乃乃其女乃乃其女

正淳

小室宗淳乃乃其女

出母

乃乃其女

其父

板屋少乃乃其女

祖母 幼年死す赤米
少海原之侍主政女
少海原但世八郎重信之死
妻 原田屋吉次正室女

江戸生

右憲公 出女病重男小令一書之増し廣吉少死
元禄十八年四月廿九日没 終年六十五歳
後身及傳し少海原水作生りて世に入
有徳公 享保己亥年八月 安房正徳少死
同日十月十八日少海原正徳并對子世に入
其子少海原正徳付 病死少海原入
元文二年六月廿三日 命終 終年六十五歳

傳し 少海原成子死
同年十二月廿二日十八日死 口葬 物多院

某 小倉系八ノ子 早世

女子 小倉系八ノ子 早世
山田屋水某妻

女子 小倉系八ノ子 早世

右ノ人ノ母原田氏女ノ一ノ孫 記有

正方 小倉系海原正
幼名正三郎

母 桑田氏女

嘉 元方山御戸環 後中河次左衛門定利女

後書 福住左衛門長幸妻女

享保十一年二月廿三日江戸生

右傳云 元文六年甲午十二月廿三日 相率伊豆左

傳(阿)伊藏子配 相率子配(長)

富平八代 享保二年二月廿三日 京院左衛門右衛門入

巨勢日向子配(長) 福永少衛門入

甲子年 享保十二年十二月廿三日 水野左衛門

左傳云 川口徳中子配(長)入

中山部子由子配(長)

安永九年丙午二月廿三日 西九郎左衛門入 相率

右京右衛門及傳(長) 少衛門子配(長)入

長谷川州後子配(長)

寛政三年丙午四月三日 山内左衛門

同口壬子年八月廿三日 福永少衛門入 与京右衛門

相率及傳(長) 南坊左衛門配 秋元左衛門(長)

同九年 己丑年七月十九日 福永少衛門

同年五月廿八日 入

某

出三系其高三郎 早世

資貞

要君在子名
平忌又忌
幼名十次郎

寛政三年壬午四月廿日
少子後他南次郎
子紀平忌又十命資貞改名子

友五

中忌系高
幼名乙次郎

寛政四年壬午六月廿日
不願弟以中忌系高友標
子如如不願弟介乳日八高辰年四月廿日
命方如平伊是子行一南次郎改名

西通

中忌系
忌次郎

如子

中忌係他中忌系高
子如子
岩田伊織写久書

如子

中忌係高
子如子
板徒如母泰清高女
布母未詳

正季

母
阪中氏女

右忌系高
幼名次郎

徳母

福徳氏女

中書院御子孫女子記

妻

如多任女古く安秀女

天明二庚卯年十二月新嫁

後書

山書院御子孫女子記

若田常定御前御孫女

寛政十一年己酉九月十七日江戸生

寛政九年己酉十二月九日江戸指原生 田

宗書三及侍 秋元年人子記

同十一年八月十二日江戸御前御孫女

山本

中書院御子孫女

右一通山本公記

言三三信

信徳 或新 而由生

有九知安三子御前様了

寛政十一年九月

山本系御前御孫女

山本

親教書
遠教書

小菅信但右殿教書之宛
小菅原好馬

純政
小室宗好

小室宗好馬下中後一書後

定政二年

中後口書付

七月廿六

大内書

小室宗好馬

小室宗好馬

此書不御送入小室宗好入馬北

作

右今曉於書友對言完中後
不及列於此月身并上國書友
編入

別紙

寛政三年

月後公書付

十月廿二

馬馬也

中三系全三節

父於多侯不願其有
作中侯之
侯中進取
作中進取

右今曉於評定本大目身
和備越前守中侯町身以此留
而後了而自身 侯於十年身
云云

但十六歲 進親於大上 敬云

小室信他金三郎 宣和元年十月廿六日 於新野郡 歿 年 五十九
 安永二年十一月廿九日 於小室 歿 年 七十九
 明和元年六月十七日 於新野郡 歿 年 七十九
 天明元年七月廿四日 於新野郡 歿 年 八十九
 天保元年八月廿八日 於新野郡 歿 年 九十九

母

家 女 礼

小室金三郎

小室金三郎

式

逸見流之御妻

小室信他金三郎 宣和元年十月廿六日 歿 年 五十九

妹

嫂

次男

四女

中目之末法公

一伯父

小室金三郎

小室金三郎

右百助 宣和元年十月廿六日 歿 年 五十九

一伯父

右一人 男

小室金三郎

一伯父

右一人 男

小室金三郎

一伯母

右一人 女

福井 宣和元年十月廿六日 歿 年 五十九

一侄男

右一人 男

福井 宣和元年十月廿六日 歿 年 五十九

一侄男

右一人 男

福井 宣和元年十月廿六日 歿 年 五十九

一侄女

右一人 女

依之方 宣和元年十月廿六日 歿 年 五十九

一 從中女

右之内親孫之序治公次上

寛政二戌年

小三宗教馬

右之内親

云

文子孫治公

遠類書

遠祖書

父方

一又從才

私從才遠祖係四代守邦公孫也
少善信能令由也白子記
大久保力多清

右之身遠祖當能公以之

寛政二戌年

小笠原教馬

先祖書

小笠原教馬

先祖書

源姓

少子孫

家之氏乃自之階

本國信長

先祖書三本及乃有光臣

一 先祖

生國或院

少子孫久乃有光臣

台任院棟沖代

寛永八年辛未年六月朔日大所為之 作

水野信長乃他乃有光臣

大敵院棟沖代 大所為之

考有信長沖代

貞享三年七月十日
久八郎政武
入之
元禄古年己年六月
大津
酒井

文保院
有舞院
有德院

享保九甲辰年六月廿
酒井

一 祖父

生國武院

水政教

有德院
有舞院
有德院

一 父

生國武院

水政教

生國武院

水政教

有德院

水政教

有德院

寛政二年八月

水政教

阿部

[Faint, illegible handwritten text on the left page]

[Faint, illegible handwritten text on the right page]

